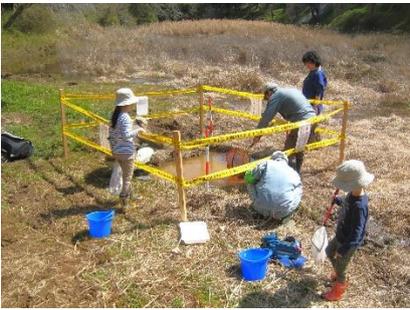


「トンボ池試掘」水溜まりの生き物調査をしました。

- と き 令和6年3月16日（土） 午前11時30分～12時30分
- ところ 立田山お祭り広場／トンボ池
- 参加者 藤井、倉光、中間、清田、長濱、佐藤



●調査結果

- 水深は約70cm。試掘穴の縁までは水が溜っていましたが、水は茶色く濁り、表面には油膜が張っていました。
- 水に含まれる泥の粒子が小さくて濁りが取れないのではないかと思います。
- 網を入れてみましたが、確認された生き物は「コオイムシ2匹」「ミズグモ多数」「巻貝(稚貝)1匹」のみでした。
- 「試掘水溜まり」と「周囲の自然水溜まり」が繋がっておらず、周囲から水の流入がなく、生き物の侵入がなかったものと思われます。
- 周囲の自然水溜まりでは「アカミミガメ6匹」「オオバン1羽」のほかオタマジャクシ、ゲンゴロウ、オケラなどが観察されましたが、種類も頭数も少なく、昨年12月から約10日間の水枯れのダメージはかなり大きいと感じました。
- 乾いた試掘土砂を観察しましたが生き物の痕跡は確認できませんでした。
- 試掘土砂にはイノシシの足跡、掘り返しの跡がはっきりと残っていました。